

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること

(例) 第1学年及び第2学年
球技 ゴール型 サッカー



ゴール前の攻防を練習やゲームで取り組む中で…

教員が「見方・考え方」を意識しないと…

ボールが来てもどうしたらいいか分からない…

どこに動いたらいいのか分からない…



子供たちは、漠然とボールが来たらボール操作をするといった意識で活動していた。

子供が「見方・考え方」を働かせると…

例:ゴール前で攻め方について、パスをもらってシュートをするためには、ボールを持たない時にどう動いたらいいか、仲間と考えながら2人対1人で練習しよう。

守備者の後ろに走り込んだらよさそう。これまでは止まって待っていたことが多かったな。

動きを撮った動画を見たらよく分かった。次はゲームでも作戦の動きを確認しよう。

子供たちは、自分の課題に気付いて解決に向け、仲間と協力して活動したり、学んだことを次に生かしたりしながら自分に合った多様な関わり方をして活動する。



例えば「球技 ゴール型 サッカー」ではどのような見方・考え方をしていけばいいのか。

運動の楽しさや喜びを感じる

見方

関連して高まる体力を知る

・負けたけどいっぱい汗をかいたし、チームで協力できたから楽しかった。
・ねらったところにパスができたし、攻め方も分かったから嬉しかった。

・授業を重ねる中で、スピードや敏捷性、それに全身持久力がついてきたようだ。
・ボールタッチも柔らかくなってきたから巧緻性も高まってきたな。

考え方

「する」

「見る」

「支える」

「知る」

・ボールを持たない時に空いたスペースや守備者を意識して動くことができた。
・話し合う中で、自分たちのつまずきに気付いて練習することができた。
・ゲームでは、作戦を生かして友達と協力できた。
・よいところを友だちに伝えられたからよかった。

・〇〇君は、顔を上げて空いたところを探している。僕も真似しよう。
・ちゃんと動きができていないか、タブレットで確認しよう。
・練習したことが生かしているか、ゲームをお互いにチェックしよう。
・今度からサッカーの番組を見てみよう。

・みんなができるようにアドバイスしたり、動き方を教えたりすることができた。
・〇〇君が審判をするなら、僕は得点係をするね。
・△△君もできるように、～して練習しよう。
・□□さんは相手チームだけど、素晴らしいプレーだったね。

・空いたスペースに走りこんだらフリーでシュートが打てるのが分かった。
・守備者がいないところを見つけて走りこめばいいことが分かった。
・ゴール前で攻防の仕方が分かった。
・自分たちに合ったルールや練習の工夫の仕方が分かった。

運動の楽しさに触れ、体力向上とのつながりに着目しながら自己の適性に応じて、「する」「みる」「支える」「知る」といった運動やスポーツとの多様な関わり方について考える子供の学びの姿

休みの日や休み時間に、みんなでサッカーをして遊ぼうかな。他の球技もしてみようかな。Jリーグの試合をテレビで見よう。地元である大会も見に行ってみようかな。

生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現

